

日時	2023年 10月 7日 (土) 9:45 ~ 11:30 天候：晴
場所	なにわエコ ECO スクエア 1 階研修スペース、自然体験観察・野草広場

講座・活動名	野草広場再生プロジェクト
参加者	19名(うち子ども 名) 構成:一般参加 0名、エコボラ 19名、事務局 0名
講師名	(エコボラの場合氏名に * 印をつける)
内容	探検路確保、選択的草刈り、実生樹木刈り取り、杭・ロープの補修、生き物調査
使用器材 資材・道具	草刈鎌、柄付ばさみ、調査用紙、一輪車、シュロ縄、かけや
振り返り エコボラ通信に 掲載することが あります。	<ul style="list-style-type: none"> ・クヌギ、アキニレの実生があり、抜根までいかなかったものもあったが、上部だけは刈り取った。 ・先月、アレチヌスビトハギの繁茂を予想して、カラムシとあわせて選択的に刈った成果で、アレチヌスビトハギは例年より少なく、衣服への実の付着は比較的少なかった。 ・一方で、ヒナタイノコツチが繁茂し、マルバツユクサも探検路上を覆うほどに広がっていた。 ・セイタカアワダチソウはつぼみ状態で実をつける前だったので、目立つところは刈り込んだ。 ・カラムシは、フクラスズメの幼虫による食害が広がり、軸だけになった葉も目立った。 ・次の懸案となるはずのコセンダングサは、太く草丈の高いものもあったが、ユキヤナギアブラムシによる食害らしき、新芽の先端部「縮れ」が目立っていて、花をつけているものが少なかった。 ・ガガイモが水路・畑側に広がり、上記の選択的草刈りの際に、一緒に刈り込んだ。 ・刈った草は、探検路上に積み上げた。 ・軍手を避け、革手袋やゴム手袋に、スニーカーを避け、ゴム靴に、衣服はなめらかな素材にすれば、アレチヌスビトハギの「ひっつきむし」の付着はある程度防げるが、実が着いたら、不織布のおてふきなどのシートなどで落とすとよい。

スタッフ氏名	活動内容	スタッフ氏名	活動内容
鈴川博司	草刈り	中谷憲一	草刈り、昆虫調査
高橋満子	草刈り	北川ちえこ	草刈り、植物調査
井上壽子	草刈り、竹柵修理	林耕太	草刈り、植物調査
小川咲恵	草刈り、ロープ修理	岩永圭司	植物調査
苗田京子	草刈り	辻野時代	植物調査
黒野治美	草刈り	西田敏子	植物調査
芝崎美世子	草刈り	中島一彦	草刈り
渡辺喜代子	草刈り	柘元慶子	草刈り、撮影
中村有希	草刈り、昆虫調査		
木山正隆	草刈り、植物調査		
忍喜博	草刈り		

いずれかに○→(○)裏面に図面、写真等を添付した ()裏面なし ()詳細はファイルで提出

図面・写真等 添付面

日時	2023年 10月7日(土)	記録者	梶元慶子
講座・活動名	野草広場再生プロジェクト		



作業前 草丈はあまり高くない、ヒガンバナが咲いていた



作業後 探検路際と選択的草刈りを中心に実施



ヒナタイノコツチの実がびっしりついて作業難航



フラスズメの幼虫に食べられて軸だけになったカラムシ



ロープ点検と杭・看板の補修作業



草深くなっていたのはヒナタイノコツチ



セイタカアワダチソウは実をつける前に刈った



植物調査も実施

日時	2023年 10月7日(土)	記録者	北川ちえこ・中谷憲一 岩永圭司・西田敏子・辻野時代
講座・活動名	野草広場再生プロジェクト		

記録した生き物



オオカマキリの卵鞘が見つかった
つやつやと光って新鮮な様子



オオカマキリが飛び出したので捕獲（林耕太）
前脚の基部の胸が黄色で後翅に黒い模様が特徴



野草広場

草本：25種

アキノノゲシ 2、イヌタデ 2、エノコログサ 2、オッタチカタバミ 3、オヒシバ 3、ガガイモ 1、カタバミ 1,2、カラムシ 1,2、キンエノコ 3、コセンダングサ 1、ススキ 1、セイタカアワダチソウ 1、タチスズメノヒエ 2,3、チガヤ 1、チカラシバ 2、トダシバ 3、ヒガンバナ 2、ヒナタノイノコツチ 2、ヒメジョオン 1、ヒメムカシヨモギ 1、マルバツユクサ 2、メヒシバ 2、ヤブカンゾウ 1、ヨメナ 2、ヨモギ 1

木本：2種

アキノレ 4、クヌギ 4

動物：29種

アシブトコバチ科の一種 4、アワダチソウガンバイ 4、ウスバキトンボ 4、ウラナミシジミ 4、キタキチョウ 4、カナヘビ 4、シバズ 0 声、チャバネセセリ 4、ツバメシジミ 4、ネコハグモ 0 巣、ハラオカメコオロギ 0 声、ハスモンヨトウ 2、ヒメジュウジナガカメムシ 4、フクラズズメ 2、ヘクソカズラガンバイ 4、ホシミスジ 4、ホソヒラタアブ 4、マエアカスカシノメイガ 4、マガリケムシヒキ 4



ヨメナにウラナミシジミがきていた
231007 撮影 樹元慶子



ヨメナにウラナミシジミがきていた
231007 撮影 北川ちえこ

草刈りの班分け

- ・過去にカンサイタンポポが出たところのまわりは、低い草刈をする 10cm
- ・カラムシは東側の法面北側に残す
- ・草刈り分担...各班 3~4 人

1 班 杭番号 1~5



幅 30cm 背丈 10~20cm...基本は毎回



幅 30cm 背丈 20~50cm...2~3ヶ月に1回

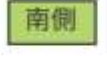
2 班 : チガヤのあるエリア杭番号 15~24



冬場に半分程度残し刈る



幅 30cm 背丈 10~20cm...基本は毎回

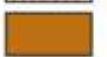


幅 30cm 背丈 20~50cm...2~3ヶ月に1回

3 班 : 杭番号 9~24 (探検路左側)



幅 30cm 背丈 10~20cm...基本は毎回



幅 30cm 背丈 20~50cm...2~3ヶ月に1回



セイトカアワダチソウ、ヒナタイノコヅチ、コセンダングサなど
繁殖力が強く背が高くなる種を間引く

2023 年度維持管理計画図

野草広場

- 過去カンサイタンポポ出現地
- 水路
- 通路 背丈 10~30cm
- 法面 背丈 10~30cm

法面及びその周りの通路の管理は事務局に依頼する

デザイン的草刈り

選択的草刈り

草刈目安

- 背丈 10~50cm
- 幅 30cm 背丈 10~20cm
- 幅 30cm 背丈 20~50cm
- セイタカアワダチソウなどの高く繁茂しそうな種を見分けて、その種は低い位置でカットする
- カラムシ：冬場に一部を除き根元から刈る
- チガヤ：冬場に半分程度残し刈る
- ススキ：冬場に直径 40cm の株を残し刈る

※実生樹木は全て抜くもしくは刈る

但し、実生創生ゾーン境界のコナラは刈らない



セイタカアワダチソウ刈り

